

地域の特色に立った活動をめざして 知り合って 触れあって 学びあう

平成20年度 竜丘公民館 主な事業日程

事業名	予定日
夏季スポーツ大会(ソフトボール、ペタンク)	6月22日(日) 雨天の都合7月2日
プレフェスタ(大人用!?)の人形劇	7月12日(土) PM
ふるさとコンサート(弦楽器四重奏の生演奏)	21日(月) PM
世界人形劇フェスティバル 人形劇フェスタ2008	
テヌfromロシア(竜丘公民館)	8月2日(土) AM
よろず劇場とんがらし(長野原区民センター)	PM
劇団「さくら」、劇団YUI(上川路公民館)	3日(日) AM
人形劇場かにこぞう(竜丘公民館(桐林分館))	PM
インドの紙芝居ポトゥ、くるま座(駄科公民館)	8日(金) PM
あがりえ弘虫、たんぽぽわらべ(時又ふれあいセンター)	PM
レディースソフト2008(竜丘レディース)	24日(日)
水辺の楽校イベント	9月13日(土)
竜丘市民運動会	10月12日(日) 雨天中止
あいさつ運動	中旬
親子ふれあいハイキング(秋)	25日(土)
Cブロック女性バレーボール大会	26日(日)
竜丘地区文化祭	11月8日(土)~9日(日)
飯田市女性バレーボール大会	23日(日)
冬季スポーツフェスティバル	12月7日(日)
竜丘地区成人式	1月11日(日)
第14回 New Year Concert	24日(土)

地域づくり に役立つ公民館

公民館長
木下 陸奥

四月二十五日、公民館委員会が開かれ、今年度の基本方針、事業計画などを決定し、新年度がスタートしました。

永年公民館事業に深くかかわっていた塩澤義男(駄科)さんから「公民館の目的と役割」と題してご講演もいただきました。

平成二十年年度の竜丘公民館の出発ができました。

四・五月の事業も専門部のスタッフと委員皆さんの熱心な準備と精力的な行動力によって、「やまびこマーチ」「親子ふれあいハイキング」とともに、多数の参加者に喜ばれ、実に意義ある事業でした。

公民館活動は、その都度色々な立場の皆さんが、それぞれの事業メニューを選択し、参加することによって、地域を知り、仲間をつくらせて学び合っていくこと

これが地域づくりに関わる姿勢であります。

十九年度から『地域づくり委員会』と言う地域自治の仕組みが導入され、社会教育を担うべき公民館もその中に仲間入りしました。

各委員会は、竜丘地域の

委員スタッフの計画立案実施の過程に接して見ると、その議論は実に頼もしく真摯であります。



公民館委員会



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,808人
男子 3,337人
女子 3,471人
世帯数 2,237戸
(20年5月末現在)

市長と語る会

住みやすい地域づくりのために

六月六日、竜丘地区の市政懇談会「市長と語る会」が竜丘公民館大ホールで地区の皆さん百十人余が参加して行われました。

今までの市政懇談会は、地区役員の皆さんがあらかじめ検討したことを話し合う方法でした。今年は、地域づくり委員会の主催による懇談会「市長と語る会」と、地域協議会との懇談会の二回行われます。

今回の市長と語る会は、市長を中心に車座になり、市政に対する意見や日ごろ

感じる事などについて、膝をつき合わせて語り合う方式で行われました。

開会の後、まず市長から「平成二十年度 市政経営の方向について」に基づいて市の政策などの説明があり、その後自由に意見交換をしました。

会場の皆さんからは「鈴岡城址公園の整備が進んでいるが市ももっとPRしてほしい」「塚原古墳群を古墳公園にし、民俗資料館や考古資料館を合わせて整備してほしい」など地域振興

活発な活動を期待 竜丘地域協議会開催

平成二十年度第一回の竜丘地域協議会を五月十四日

竜丘公民館研修室において委員十八名の出席をもって開催しました。今回の地域協議会は、飯田市の交付金交付要綱に基づき竜丘地域づくり委員会における「平成十九年度のパワーアップ地域交付金実績報告」及び「平成二十年度パワーアップ地域交付金申請」に関する件についての意見を求めました。今回の交付金実績報告は、飯田市の交付金交付要綱に基づき竜丘地域づくり委員会における「平成十九年度のパワーアップ地域交付金実績報告」及び「平成二十年度パワーアップ地域交付金申請」に関する件についての意見を求めました。今回の交付金実績報告は、飯田市の交付金交付要綱に基づき竜丘地域づくり委員会における「平成十九年度のパワーアップ地域交付金実績報告」及び「平成二十年度パワーアップ地域交付金申請」に関する件についての意見を求めました。

環境やちやく地域づくり

五月二十六日に、竜丘地域づくり委員会女性委員会

の研修会が行われました。

今回の研修会では、現在人類共通の課題としてよい環境問題にスポットをあて、改めて地球温暖化防止について考え、飯田市の環境課より講師を招き行われました。

どに関する意見などが出され充実した懇談会になりました。

今回の意見が反映され、竜丘がより住みやすいいきいきとした地区になればと思います。



表彰

- 田中 治さん(上川路) 平成十五年、十八年度文化委員、平成十六年度文化副委員長、平成十七年度、十九年度 文化委員長
- 今村 春子さん(長野原) 平成十年、十四年度 民俗資料保存委員、平成十五年、十八年度 民俗資料保存副委員長 (通算十年)
- 塩澤 岩恵さん(駄科) 昭和五十八年度、平成十年、十四年度 民俗資料保存委員、平成十一年度、十四年度 民俗資料保存副委員長 (通算二十五年)
- 塚平 賢志さん(時又) 平成二年、七年度、十一年度、十九年度 広報委員、平成八、十年、十四年度 広報副委員長、平成九年度 広報委員長 (通算十七年)
- 宮下 秀美さん(長野原) 平成十五年、十九年度 体育指導委員 (通算五年)
- 林 厚さん(時又) 平成十五年、十八年度 体育運営委員、平成十六、十七年度 体育委員長、平成十九年度 体育指導委員長 (通算五年)

ヤブ敷

五月十二日、中国中西部の四川省で大規模な地震があった。この四川大地震での死者数は六万人を超え、土石流が発生するおそれがあるなどで、今なお多くの被災者が避難所での生活を余儀なくされている。日本からも医療支援を行う国際緊急援助隊医療チームが派遣され活躍する様子を見て人の力は大きいと改めて感じさせられた。

東海地震の強化地域に指定されているこの地域ですが、地域防災の要として住民の暮らしの安全・安心に貢献している消防団が、団員数の減少という大きな課題に直面している。第七(竜丘)分団は九十二名の定員に対して八十二名、十名足りない状況で今年度の活動を始めた。

近年の少子化や都市部に集中した就業形態が原因で消防団の団員確保は全国的にも課題となっている。団員確保に向けて女性消防団員の採用をはじめ、消防団の協力を検討するなどさまざまな取り組みを始めているがなかなか課題の解決に至らない。

消防団は、地域の連帯が薄れていく中で、年齢の違う仲間が同じ使命に向かって活動しながら、共に地域を考え、人生を語り合うことができる場所だ。消防団は、災害から自分たちの地域や人々を守る心意気のある若い力が必要としている。風水害時の避難誘導や消火作業に従事する消防団の弱体化は、地域防災の根幹にかかわる。

地域の皆さんも消防団が置かれている社会環境について考える必要があるのではないだろうか。

地域の自然や史跡文化に触れながら 親子ふれあいハイキング



今年度は、万寿山公園(ふるさといきもの里コース(距離七・四キロメートル))をハイキングしました。受付の際には、用意してあった資料が無くなり、慌ててスタッフが増刷するといった、ちょっとしたハプニングが発生するくらい参加者が得られました。飯田昆

晴天に恵まれた五月十七日に親子ふれあいハイキングが行われました。百名余の参加者が、思い思いにハイキングを楽しみました。

虫友の会の塩澤義男さんを講師に、所々でギフチョウのこと、昆虫のことなど説明を聞きながら歩きました。万寿山公園は、ソメイヨシノが百五十本余り植られており、春になると見事な花を付け、竜丘地区の人々をはじめ、近隣の人々もお花見に出かける憩いの場となつていきます。又、ギフチョウなども蜜を吸いに集まるとの事でした。

新川さる橋では、橋のレリーフにギフチョウが彫られ、塩澤さんの話と合わせて、ギフチョウの姿を想像させられる物でした。新井原では、橋のレリーフにギフチョウが彫られ、塩澤さんの話と合わせて、ギフチョウの姿を想像させられる物でした。新井原では、橋のレリーフにギフチョウが彫られ、塩澤さんの話と合わせて、ギフチョウの姿を想像させられる物でした。



紙芝居に見入る参加者

恋しきかな ありがたきかな故郷 東京竜丘会総会

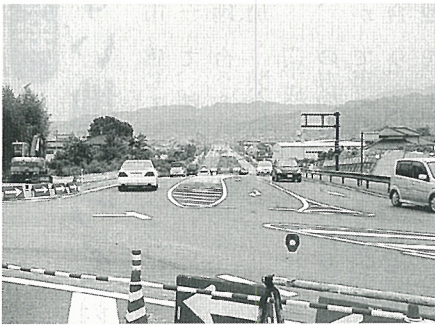
東京竜丘会第十回総会(ふるさと竜丘の集い)が去る五月二十五日に千代田区九段のアルカディア市ヶ谷を会場に行われました。この会は、首都圏に住む竜丘出身の方々で構成されており、二年に一度総会を開催しています。地元竜丘からは、自治会、地域づくり委員会、市議、JANAなど約二十名が、野菜などの詰め合わせや旭松食品の味噌汁などお土産に出向き、東京竜丘会会員約百名と一緒に楽しみました。



景観や環境に配慮した取り組みを 桐林大明神原線開通

四月十三日に三遠南信自動車道飯橋道路の飯田山本ICから天龍峡IC間が開通しました。それに先立ち三月三十一日に天龍峡ICへのアクセス道路として、国道百五十一号線のバイパス、桐林大明神原線が暫定二車線で開通しました。川路側では国道がバイパスに直線的に付け替わり、竜丘側では、治水運搬道路を通じ国道へ接続します。

川路地区では、バス周辺に店舗や企業が進出し始めました。景観を守るため、看板などが乱立するのを防ぐ仕組みづくりに取り組んでいるようです。竜丘の先線、国道百五十一号線に接続する区間について、昨年より対策委員会と地権者組合が設立され話し合



放課後子ども教室の様子



高学年をリーダーに学年をこえて 竜丘放課後子ども教室

この教室は、自治会、地域づくり委員会、公民館、やお母さんに伝え、家族の輪、友達を輪を広げよう」委員(委員長 木下陸奥 公民館長)が中心となり活動を支え、今年度は、地区住民スタッフと保護者を合わせ、約九十人が運営委員として、ボランティアで参

のまとめ役を担うためのリーダー研修を受けました。リーダー研修では、リーダーとしての心構えを確認し、終了後には、「リーダー認定証」が手渡され

子どもたちが楽しい教室となるよう、私たちも、一緒に協力していきましょ

せっかくウォークin竜丘

飯田やまびこマーチは昭和六十三年に日本マーチングリーグ(JML)に日本で二番目の大会として開催され現在まで続いている。(現在登録は十五大会)



の一人たちが、竜丘自慢の古墳や、白井川秘境、開善寺の牡丹・石楠花など、地域のことを知る良い機会となりました。到着後、地域の皆さんの作った豚汁のうまかったこと、お代わりが多かったです。全国各地のウォーカーの人たちから竜丘のおもてなし(おみやげの勾玉)に感謝と、また来年も飯田やまびこマーチに参加したいと便りをいただきました。

転出



森 善之 (所長) 学校教育課へ地域の文化や自然を核に各種団体が連携して地域づくりを推進することを学ばせていただきました。みなさまに支えられ、二年間を過ごすことができました。ありがとうございます。

人事

所長 北澤 克弘

地域活動、文化の伝統ある竜丘の皆さんと一緒に活動させていただくことになりました。自治会及び地域づくり活動を通じ、地域活動の充実のため努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。